

生活介護 でい工房花はな
共同生活援助 ホーム花
桜の家 風の家
短期入所 ショート さくら
〒259-1201
神奈川県平塚市南金目346-1
TEL 0463(50)3080
FAX0463(58)8798

共同生活援助 花の家 かのん花音
かな花風の家 花ひらの家
短期入所 ショート なぎ風 さな咲花
〒259-1206
神奈川県平塚市真田1-12-29
TEL 0463(20)8837
FAX0463(20)8759

花だより

14号

令和4年3月発行

発行人 村上 結

生きるという二つの詩

社会福祉法人花 理事長 村上 結



「生きる」

谷川俊太郎

生きる 生きていくということ いま生きて
いるということ それは のどが渇くという
こと 木漏れ日がまぶしいということ
ふっと 或るメロディを思い出すということ
あなたと手をつなぐこと・・・
あなたの手のぬくみ

水野源三

「生きる」

神さまの 大きな御手の中でかたつむりは
かたつむりらしく歩き 螢草は螢草らしく咲
き 雨蛙は雨蛙らしく鳴き 神さまの
大きな御手の中で 私は私らしく生きる

水野源三 九歳の時に脳性麻痺、目と耳の機能以外全ての
自由を失う 瞬き意志表示による詩作を続け四十七歳没

※病気で片目を失明し、残された目も失明の
日が近い八歳の男の子が両親と共に源三さん
を訪れた 少年は二十kgに満たない源三さん
の姿を見て戸惑いながら「カブトムシを取り
に行ったことはありませんか」と尋ねた 源三
さんは「山が好きだったから行ったことがあ
ります」と答え「ひとと比べてはいけない、
比べないように生きてください」と少年に話
をして、「生きる」という詩をおくる

【日々の過ごし】



「花」の日々の過ごしは森羅万象、諸々の
出来事、驚きと感謝にあふれています。

まずは朝、「おはようございます」と挨拶
すると利用者さんから元気な「お帰り」「お
はよう」「ありがとう」の言葉がかえります。
そして頷き・敬礼・時にスルー 一人ひとり、
気分次第の工夫凝らしたやりとりで、一日を
スタートします。職員はシフト制なので、入
りの時間お互いに「よろしくお願います」
の言葉と目礼を交わし勤務を開始します。

次は昼、手間をいとわぬ美味しいご飯（今
日のメニューは白身魚のチーズ焼き、パプリ
カとピーマンの炒め物、あえ物、さつまいも
ご飯、なめことネギの味噌汁、香の物、みか
ん）がならびます。季節感のある給食をみん
なで食べる時間（現在コロナ対策・時間差給
食）には、感謝と幸福感があふれます。

夕方そして夜、ホームで「さようなら」の
挨拶をすると「明日、来るの」の言葉がかえ
ります。雨や雪の日には「滑らないように気
を付けたんだよ」と言葉かけをしてくれる利用
者さんもいます。宿直職員に「よろしくお願
いします」の言葉を残し、この笑顔が明日に
もつながるように願いホームを後にします。

【いま生きている時間】

何処で暮らしていても、日々の暮らしには
必ず別れが訪れます。最後の時間まで自分ら
しく暮らす。看取りを理念とする「花」では
別れやいのちについて深く考える機会があり
ます。日野原茂さんはいのちの授業で「いの
ちとはいま生きている時間のことです。自分
の時間、いのちをどのように使うか、しっか
り考えながら生きてほしい」と語りました。

【人生への愛情・M博士の地球の生成より】
・・・私は子供に解りよく説明してやる 科
学は放射能の学説から、地球上の最古の岩石
の年齢を十四億年ないし十六億年であると発
表している 地球の年齢の秘密はさらに驚異
的数字をもって暴露されているかもしれない
しかるに人間生活の歴史は僅か五千年 日本
民族の歴史は三千年に足らず・・・父は生ま
れて四十年、そしてお前は十三年にみたぬと
私は突如語るべき言葉を喪失して口を噤んだ
人生への愛情が會てない純粹無比の清冽さで
襲ってきたからだ

井上 靖

わたしたちの知らないところに、無数のか
けがえのない人生があります。「花」の日々
その人生は、共に生きる利用者・職員、そし
て本紙を手にする皆さまに支えられています。